

3-6 事務部門管理者会議

本会議は、平成9年度より新規事業として開始した事業で、12年度で4回目となる。事務部門の最高責任者の方々を対象とした理事長・学長会議の事務局版とも言える会議で、大学の事務当局が情報化を進める上での基本的な考え方について十分理解いただくことを目的としている。

12年度は、グローバル化時代において大学はどのようにIT武装をすべきか、職員の立場で電子化促進を大学あげて進めることの重要性を理解するとともに、大学に蓄積される知的資源の問題についての権利処理の問題について私情協でとりまとめたガイドラインの説明も含め、2大学から事例的な発表を設定した。補助金の問題は、来年から情報公開法がスタートすることに伴い、申請内容の充実を図る必要があることから、重要な点に焦点をあてて説明することとし、以下の通りの開催要項を策定・実施した。

第4回事務部門管理者会議開催要項

I. 目的

教育研究の情報化を大学全体で推進するため、事務部門管理者に大学として対応すべき教育研究面での情報化の課題、対応策、補助金の活用について関連情報を提供し、理解の普及を図る。

II. プログラム

1:30 開会挨拶 戸高敏之氏（私立大学情報教育協会会長）

1:40 「グローバル化時代における大学のIT武装」

世界に通用する人材育成、国際的競争力のある大学を目指して、大学はITを活用してどのように授業改善を行うことが望まれるのか。また、実現のための教育環境のIT化、大学間の連携をどのように考え、備えていくべきか、大学審議会の中間概要等を踏まえつつ、21世紀型のネットワーク上での教育連携のためのコンソーシアム（サイバー・キャンパス・コンソーシアム）に具体的な提言を試みたい。

【説明】 戸高敏之氏（私立大学情報教育協会会長）

2:10 「教材等のデジタル化推進に伴う大学の対応」

教材等の電子化促進を大学あげて進めることが避けて通れない問題となってきた。教員への理解の促進、学内での知的資源の権利の明確

化、教員の大学Webページ使用に伴う問題、著作権の許諾に関する対応など、大学として対応すべき課題が山積してきている。そこで、課題に取りくんでいる大学の実情について報告を受け、当協会としてとりまとめた対策についてのガイドラインを説明し、理解を深める。

【取り組みの事例】

江戸川大学の例 市川昌氏（社会学部教授）
明治大学の例 安藏伸治氏（政治経済学部教授）
中嶋正夫氏（情報システム事務部教育研究課）

【私情協からの電子化対策の提言】

井端正臣氏（本協会事務局長）

3:30 休憩

4:00 「文部省の情報関係補助金申請のノウハウ」

13年度に向けて情報関係補助金を活用して、どのように教育改革を図ることが可能なのか。補助金の補助対象の範囲や申請上の留意点について徹底した紹介を行い、大学の予算編成に反映いただけるよう情報提供を行う。

【説明】 井端正臣氏（本協会事務局長）

5:00 コミュニケーション

6:00 閉会